OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	ディジタルネイティブのための情報処理教育
Author(s)	下條, 真司
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2015, 16, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70384
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

巻　頭　言

ディジタルネイティブのための情報処理教育

サイバーメディアセンター長
下條　真司

22世紀の人間から振り返ると21世紀、特にその後半はICT（情報通信技術）の時代と位置づけられることでしょう。コンピュータの出現とネットワークの発達は、我々の生活を根本から変えるまでに至っているでしょう。いまや、生活や技術のすべての分野でICTが重要な位置を占めているのは間違いありません。

当初、コンピュータやインターネットの利活用のための技術を習得するといった趣のある情報処理教育も根本的に見直す時期に来ているかもしれません。いまや、生活や学問のすべての面で、ICTが活用されていますし、その負の面でもセキュリティ、プライバシー、剽窃といった問題は、ICTと密接に結びついています。また、いまや、この教育の対象となる学生は生まれた頃から、インターネット、スマートフォンといったICTを通じて情報を浴びるような環境に慣れ親しんでいます。

こういった新しいICTの側面を理解するに足る知識を身につけ、それに対する批判的な思考力を生み出すためにこそ情報処理教育はあるべきだと考えています。サイバーメディアセンターはスーパーコンピュータからネットワーク、情報処理教育用コンピュータなど様々なハードウェアを提供するとともに、学内外の様々な情報サービスを提供しています。そのため、本センターに取り、ICT教育のあり方を考えることは極めて重要なことです。本特集が関係するみなさまのICT教育に対する新しいイメージを開くことになれば幸いです。